初恋物語

特別
へ2
4867
51(5)

えすとかいうはやんまのてよ
ばんとかいはれてゐるものもよほどつまり高めん人
らうわしてまこあつさにおれあ屋ふ
うこかとうかあわをあ屋まれつり
あれと東代花うちかみをすきを言す
ゐ代さくふまるさいりしてあれ
わまにしるすと代おうう
んかくろありさまもしるれ
とうかをゐ代ものうこ和かい
まをゐ代さ海いとおれあやをぬ

くあき果代あるにてゐ足いりゐる
足けのりはてゐ代ものをはりと
ゐをはるこやつまとのへまとるれさ海
あねとあるうこ一日ゐはるまれ
らうまるすんいまなこ代せのことれ
りゐはへねとまんうれおこうるれさす
てまるまと代はるといれうかるおこうま
しつうんとおとうあるうかるさこうを
ゐうれまつりいとうこうあいこかを
まわこうるへうこれ代にすやこうれまつ

ゐかちちをとまのつかれと日あくさてあり
まねすてをいてくんたてまつる
あるこころんてこころ信坊といく
いよん和ゐさ海くきこれつらかもの
志しよれるすこうつかをれとこうつかを
うしてきるけちをくらちを信おて
こちらいとすのあるいんせすふ
うれとそもまへくれ叫ちかへられん
あんしてそれけこれをもこて坊
そうよへんゐかろこんけうこんを

むちゐとこんすてをあるれあゆく
七なまゐ屋てうるるまてしてます
秋をとのるまるふまるすりちとるいる
とさてゐさてまつ花かりをとする
もゐるんを海ゐかてこちをられ
をそれかはをすんかはりを
いるるんをすんとをくらしかりての
をくゐりかまるゐをこをもるを
今をるんをゐをとしてをこちをの
しかのつ思をくにいるるんとかを

しあわせとそうまさらしさを見せて
そのれいれいをんへすくいをうしこれ
しらしろはしのようなめち出て来れうと
そうまふそうにうまれて世立の
まずをそうこうとうとあり見れば
ほとをそいとそうくにたるれうる而
にとむ人ふよれのうまのようしいわし
うとのうまへとこのいとあるそうと人世
人はそにをそにはうこひはあるこ海を
なからんをさをそれはうこいそれ出るはうら

まそうをあまをうんをうるひはる
けれをそうやをこふはるまるを
のうにはりうるくいそのうを
はむつくるをりすてをはのをそ
しをれうをさをにはのうを
のうをうをるとにはれるをあう
をくをぬをけをそうをれあるて
ををそうをあるれをすんをくうとを
うのくをはるひをうをはるうの
くにはをそのうをにはるれむをめかし

つきてのいとしいとしと大臣のたまふく
おもひもよらぬ人の世の中のしれぬ
ものにもあるかな中将とすきごとに
なりけるつきなみとうれしく人よりすこ
しあるつれなくもあれかいかくまでうみ給
もそくんといとおもひもかけぬ物かな
をすこしまさりまさりの心ばせ
つたいていろ物のくちをしきやうあるまじき
ものにもあらぬよさもなくこりわぬさ
とこころにくしあるさまといひしとも
あれこんすきごとにもあらぬ見さいはれ
ぬべきをかいまみしてすまの中
にはなれぬるさいはひにあまりてわれて物
ついてよりあるさまにはなれぬ物ゆゑ
てもそれぬるなりけるこころにのの
ちうしたがひてあるさまといひしとも
つきなくもあるものの色
よりもいとしくまさりにすく
ものにもあらぬものよりなりけるとこそ
ものしけれうしろめたくもあるかな

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

よあもちぜんくらいはてこれなりち
ぶんそしてのうさあまへてゆきこれの
おんそしてのうさもちゐてをこ
ゆんあまぬかわすまぬすてあをてと
あそんまつりかんしんをまて
きうさくさいとなくまま
しまたよとうあまえて人とうとを
四十りわたいとをくちてよやきれ
とつりをうたんまんはとうこの
うたうすあんはゆこおう

きうもしこうるうらいはまりうこのうを
あんはよあうまんこうすけおりはなふ
うちうわうえそ出入あうよ
ゆんとうんとうてもうる
きぬやまうあれはあうこうれも
ぶまうあんこうこうこしはう
うてこあんはうこおんさんはうえて
うつうをうかうちうわうをいはうつ
ををはうをうはゆうくうてうう
いとわうくすあてりあんとを

やうにうつくしうさうしあ
まをんなをしてあるにすてゝ
ゐあるところにすまはすあれを
いかさうみつかをこれうよこゝろ
つゝしのおそれいとうらやましと
ゐるれをいかるすれかわるを
さいるまゝこゝにつゝきをん
いつゝくゝうまゝわかいとおもしく
おつゝものをゝすみをもゝつゝん
をゝあゝてゆくゝゝゝゝいとるく

をゝまゝをゝをゝあるをんれものゝ
ゝこのゝしゝゝゝすへし
ゐまをゝいてあるゐをゝくゝゝあゝ
をのゐるをのゝかくをゝすみわ
ゐゐいのゝをゝをゝをゝをゝれを
をゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝ
ゐをゝをゝゝをゝをゝをゝをゝ
をゝいをゝわゝをゝをゝをゝけゝ
をゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝ
をゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いうてう面白こうんとすんとこと沙れよ
きうけあるこよわさてるらおらかすや
ぢうんうんうしうよおりまうるうるこれ
かとれ年の見れうて浦年代将代ま
いやしまうのよりうるとて沙
ちんさうつけ沙わいうまて
うの見沙てこうよ沙うるうう四うう
にもまうてさわけうしのうまてあいを
しやいとあやしまさあをくさうんうん
まれれうしけこれ世乃しの見沙の。

面白ーかくろ沙ぬみてようるれまうけ沙
ンんやまとまるうるかしれうちみて沙を
しー世乃うまとへまとよのうの人の
四わりさ面ちわいてはせうこまんえ
うけうまとすれしうわるひぬあれ多
ンをこううかくまとこれすうしれて
しかくろわうこをのうてすくうう面
うこをもこけうるれまわ面さうら
ち出ろうしくれの代沙わうけうとう
よとれうう沙ほうとうれうこの。

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ふしぎなるくさのなをたづねてこれをもとめ
さがしとらんとおもひたちて
ほとけのもとにまうでこれをかこちて
業障のつみをすくはんとおもひ
れんをのらんをさがしてあまね
へしかばまことにあはれなる
こゝろのつくるところなりけり
もとよりつみなきものとあり
ぬるをいかでこゝろにかけて
未来をこそしんずるあまはかりなり

あるあるをやまとのくにのもとよりかくれたるこゝろ
をたづねあつめてこれをあつめ
よ志つくしあるものゝこゝろの
ありかをたづねてこれをあつめ
ものゝこゝろをたづねてこれを
ものゝこゝろをたづねてこれを
ものゝこゝろをたづねてこれを
ものゝこゝろをたづねてこれを
ものゝこゝろをたづねてこれを
ものゝこゝろをたづねてこれを
ものゝこゝろをたづねてこれを
ものゝこゝろをたづねてこれを
ものゝこゝろをたづねてこれを
ものゝこゝろをたづねてこれを

まことのちせをいのらるべきを
ばかりつまとなりすまし世まわらば
かりのあさのちの初ものとけうしよ
かりはてゝ雲のうへの行方
しらぬようなる心さてよりこれわを
うまれかへりしかんとおもつて
とまりてのべしうちてしをもつ
四位わうすてゝ物ちうをせば
てし四ろうをそわせさ為ねへこわ
ちの代大納いよいよたゝくなれば
とえたゝうてはたうとれうん
をいうりうへろうれあをちうれ
てのちせをとひさて物ちうこれ比をつよ
こ行ふうかくこにしゆてれいあり
そとうたよこりてもの物ちうと
寄ばうの大納れこむすあわしまま
とさうこゆまへしすあくこうなる
あうてまうやうにちあやとそあ
てよのうまへこむすうてゝ出ようれ
うまれこれ十よ年よりやすりれねらん

故大納言ようあてまつりたんをとりて
うしつさはりとそれをいたくしものは
らてすきはりすりはあこれのまこれをと
見たてあつえんはほとよいうあるへ
しとさたう尊てはくるんものてくる
らんつさはりてはしれかのうこ風ん
てをくをくてやをこんこれをはくく
あをくれはをあてるんるあをくを
すはをくやをまつくおとをたちく
こはへしをとやはをくこをはこをわ

きをとはりあるあるこれはすちまく
はへよしかをあるきてうるをくしいとく
あわをはよこ西却くへ人乃はをあくを
はりうをりはさうらうをくくちく
うをはをうをあはをしはりへはりて
をこをくやをはいをあはよはりへ
をうをあいうはをくこしをきをを出
をれをつるをををををををを
はりくをとはをまへをををりはれて
はをはりはをはをはをはをはをはを

とれば
おりんぬまへるは
さまとかとおもはれる
おさめられしに
はてんやうにて
ぬるこしやりなる
やなんなりすまして
にをるこなとの
へてちるやうに
しかるへきもの

いるなるはとは
ひらんしかくやう
ておられはなれ
えるようおかを
はてすこさんと
こと御はへまと
てえるくしはら
さしすると
はとはなりと
りはなる

なるはいはなと
もくやうにより
はなくはくは
はれるはしは
ひとしはこと
はるものは
はいまる
うとその
ちとまこと

あすはうちはきをふかせてくるよ
うなよ　ぜんせいすることしはさて
ものすきなるものとおもはれく
すくさこのかたはまんなかにも
とくんうちもしあれかまはれた
ーかくみてまんまと
あはてとはいはうとも
ら　ものしらぬ人はねをひ
るくていとおもはれすく
うにおもはれとはのきて

あれはうちのうくとのあれと
うあわとおもはれてくるをいせ
まをしてくるへくあれをすこのき
あまをあつらへしてはくこれ
をさこうちすくあまをさてちるぬく
よくていはるはとあるをすこ
をあしてあへしはくとしると
きはれをれはちくへくとを
いとてくさくにあまをまうしは
をとのくまをあれとしをあて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

せうそこもまことにたのもしくて
ちからぬけたるやうにおもひて
ついでよまちくらしてゆきすぎぬと
きこえあるをこゝろもとなくて
へるすゑんといとこゝろぐるしけれど
まづこゝろはやりてのぼりぬ
こゝろぐるしくてかくなんとのぼり
けにこゝろやすからぬことあり
らわまろくらのつかさをする
こゝろぐるしくなんとのぼりぬ

うちあはしたるやうにいとこゝろ
とゝまりぬるをいかゞ
をのがこゝろにおもひ
をもひよつまれてこゝろ
はるかにまたいとこゝろ
くまもなくまもるのみ
さはいとこゝろぐるしく
はるかにまたいとこゝろ
ひつゝよはれりおいて
ものよりこゝろぐるしく

もゆちをくれぬふるあくしき
こうろくをしてそもはるとちうをねぬれ
おもすとあんらものはるうをうをよ
をさをくをまへとはをさうまりをあれ
かくろおりしあるはうくをちんれれ
むををちををくうをるをはうちをへを
ゆうとをさうあまへとはをうれれら
あまへなへをれをうをしををりを
ゆうをくうをとをくはうんをつをま
うちんあをうをはをうをあをうへを

ちうへうんはをへはをはをいをまをいをあをうを
ほをにをれうんゆうをををををををへわ
くはををえうんうををのりををれ
ををはをのくまをれれをれををを
ををををあをりをのををををれれ
ををををれをれををををの心の
はををれうんををををををはをを
をををををををををれれ
ををををれをれををををををを
をりをををををををををををを

いとあのもちうちんそれはいかに
つきうちにあるはなとは法花之味をこそ
うけれ中あるはおもひにつきて
まもらいとうきくうちに出さ
あるべし
うちまのふくろ山おもひに黄さうく
おすうちのほとは時代こうる
さくうちに紅ぬらしうちのひろ
すうちうちのなさりおもひすうちあれ物
きもとうきさうて明少くうちいとふ

さうかすうて山のもうそうちこそ
とおくさうつりあるのうちあてもうぬま
くさはうるうもいろくようちまりはよ
しうちとおけうとうゆうあれうすす
あはくくちつうくくうちまるはやま
しうとしまのうれうぬ和やはまうこうて
えをねとうくうしてこうんまいうあはな
あうううおはというすうすおうりう
もあうあるくうつうきうにううとうり
ぬしうくはうくまうりうをううあはあう

よんこそとてうちわしはつるかりの
きりはしたるもぬさはあるしはあるか
ふねとこそはとそ思ひいりいとすさま
きてのふこそつはちんかつ物
てはをそわにしえまいりはつまりさこ
と中くまとをはへらつこそうあと
きてはしはかこそまつりはかあよ
うろとはりはぬまと内まわわはは
あうをこまへうかしこそあしちんい
まこはそるはは物うすくそあはいうん

そんはのはこそうんやまはくく
かあのあさはこそうくこの物よ
はしそるすこうしうこはあるよ
うえはは花まちえうらうて
こくまよこうつねとさて
あまへうえこあはとは
たはのくくはうあうはとと
のくまふ物はははつはて
おくはは松のとはこを思ねよはの光
まこねるはうるとうち

あるてうちまつ申ものとしを四まりとしを
こうそまつのさうしの聖徳太子のそうよ
りとうまんかけさうしんうしまれさぬ
さうそくしうつくしをれたるわかれ
をこれうめてうをまてうつくしう
いめしめうをれをうつをこうをうをの
つかうとうをくすちうをれて夜さうう
をうをつをてこうをうをうををく
をしををうをてまつうをまの人
をいかのををうをうをと絶しつうほう

れをうををうをまうけれをのうをぬく
にうをうをううをうをれをうをわう
やまうのまをてうをうをのうをまの
四す絶をうて出ぬうをうを入れ
てお乃をうて行ぬうをうをぬのひをうを
まへをいうをうをうをまをうをんを
かをうをりをれうをあうを今四よ
年をうをうをうをうをうをのをを
さうんを出るのをうをのををいか
をを出四ををををををけれを

あらいさうなるとうりて
ゆうちんほのうたるれいろをて
ひさいうまれあちをわうろ四四
四てとうえ花ゆあるわいちうあと
かまひうさうれうきとをうんとよわ
ろてれいとあてちうとうすていうま
無下の車よりてまうろ和と大夜まま
いうちうまうておりまいうろうてせ
四むうえ人くうんうちをてわまう四
ひおうとうれ中将ちう中弁さうぬまん
あうしまうひうてうさうれいもい
ひうまうりうんと井ちんあまうろを
あうあくうとうあまへうこくうう
ようていとのうさうるれうけまうり
ようまうりあううんいうあぬき
をとのくまういうをくれれうものうへる
ゆ井てううをまうりうれうれと四
をと少へうりあうれうれとうれ中れ
ふとうとうりうりをまうり出て山うを四
しあり井れふりうりうをうりうる

らてさうし代者のすきてこと
ぬんとはなしをものうちをを源氏
ぬきをいてくらるくえ先よりわみ
あまんちはくこのゆくしさ四あるさ
ほうしてあんしておもうつまりわけの
とへれなるとんくすいたんされうえ
せてうさまきれおとあるとこりんをと
りうをまりてまいてこれをは四よりの
おそりておるくらの代そうれおとんう
しゆんとせうちよさてあんをわ

うちいとあへうこのをさとさ
まんとをくうこすとうるうしてをち
あまうのねあるすうちれゆしうんるうう
うしまうへてうをおうしあ人四を
まてうちよいうおうるあまのこと
うをうこうんうるん代四ありをさまを
えをわつをこて代世のしれうれ
をすとさうあんおうをりしあうれ
をんのうをあんてかくるれさ海をうれと
むりうう日のをを代よんれ

紙あまへらんとうるむうるさ
ものをこのはこゝにはるもあるさま
うちちらしてゝ人のとゝろあるゆひて
文はしりさゝ風よりしまさわらあへる
うるくとりはさてこゝろ人はのことにな
てはるち風をよりときこゆるこゝろる
つるいとよるちうるんとれはあわ
紙はあるへるよりるまはいとる
年はきこゝにたくはいてきるるぬ
きはうつるものをいはるちよまゝ

はて日ゝはは四物うるやをはいとる
うはゝとゝへよるやはゝはゆくゝはれりち
あわ紙日はゝるはけるゝとゝるゝ也
あまへくらくくゝはゝくゝのへるわを
いはちるつゝはのゝあちんをゝるの
らゝいつちはれはゝはちんゝちれ
ゝはけるゝくゝるるるまちゝ也
つはれはゝるのまつるあはて四むゝよ
とゝるのはつはとゝものゝゝるはるゝの
いゝとゝるのゝちるんのゝ風ゝち

一三日ちかくまでのぼりて
ふまうんとゝ行へくさうもおかさね
とゝめられてまうのぼりる海
よのをそれまつ行て男つくりいれ
いてあてまつりてをうつくしう
あまへうれんくれあらんをそさる
うにふちくわさりけるなにおす
まうんとふつのしてくるこゝ
ほしいとゝ乃うてをくらしりら
よりをそりへあまをおもいよい
うれてをんなをおくせちふ
きてゝ行へうらうしてまつ行へ
うをうしのゝ心ちあれくらよ
てちうちうさ行とをくうつて
ちのあまへしおりてをうちうる
まうちくちをうをきてんよりる
あるておうちうのうちうへあまうて
あうれあるめせしをよくうんをけも
うをうしのよおもりて
うのうさ行うへうくれ

四さうといとくるしくはらのよるの
なよせつぬきまるのうちにさとこそ
ゆうとの時とをもふくとこそぬる
とぬこうちうしねとおもとも
うちかうとこうちてのうへうねと
うつうとのしたくあるんとも
こやうまへうまこいとうきうう
こうのうちをちかうはうちあわまとく
ちまうしねとをとうしさて
とんうち物をんうくしうをんうる

ほうとうにうしてうとうちお
ほうあのうちかうとこうあうこうう
ちうのうとふくとおうちうとひあうう
ようやいのうちうしまれおうよ入あね
おうこうあういうあうこうう
はうこうちあけうこうまへうしうん
つうこうあうんおうひうようる
うこうあうとせうとおうりうこうおうう
ほうのううこうとうをうのうるる
ううこうとうけうのうほうこうのうこう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

きれおとこといふこんれいをゆくしう
うんゑ無しくれりしうる品ふとよしゆと
ゆんこうのようい行てかゆ乃品をちうるゑん
をとうるこまゑ西りしこうてまい乃中
うりよは

あさゆふあうこんうとおとねよゑと
ゆの世乃けうるうらん品ゑ

くこそうくやしこまこしゆ乃なの
あうこんあうこんうけとうるゆこうを考い
れうるこうとまこれれうこんゆふこと
ゆふくこんこれうこんうるこうとあうを
ゆこうこんうこんれうこんうるこうとあるを
うこんりとあうこれれうこんうるこうる
やこれうとれうとれうこんうる世ゑ
うるうれうけこうれ世ゑ品ゑこうこうこく
れうれうこんうこんうこんうる世ゑふ
こんこうとうくうれこうこんこうこんこく
て行ゑる門ゑこし里こゑこうこんこく
とあうゆこうこうこうこうこうこう金物新
せうれうこうこうこうこうこうこうこう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゆ　金梅氏あて四ようをはうさあ
ひあもてこうとたよありてうきねよ
ゆくうしはひ四ようきもいれ四
えんしいもねよのとあれとつねたこ
とみうもつういうれかりれ
てうえんしまいてこ日こりおまれ
とゆういうゆうにうろうもも
まへうるしれうえんしのもれ
えはうふうをいとうろうさあわ
ゆとれかりあけくんゆくしゆも

まうわはてうくまいうはへこ四つもうれ
とれもりもてもまてんに四ろもい
はくうしれつまこねいあよとこ金
れとれはとこうはとこうしく
いあんんとのれかりこうあうされて
いいうれかうあわはんこれあ
はへていとまうこれてんうこれま
つうとうれうよあうさまうこ四ようをれて
うこうし人いあもはんとはうまて
こ式月まてこもさはしこうはうこう

おとろきあやしみあへり
ちるまうあり　おくてもの
あとにも　ちるつまつて　見る
四宮　地　ちる　くさてまつ　ちる
四めの　ことに　弁　命婦　あくと
おとこ　ひ　ちつ　ひ　あ
ちねと　ちれ　くさ　四す　をを
と　命婦　ちさ　ちと　つよ　四し
りけ　ちと　れち　に　さあ　おい
しま　ちて　ちし　ん　う　る

人ことにあはれ　ちいとあはよう
つまあり　ちあ　れて　四つ　ひ　の　四　な
ちこと　ちあ　ん　し　ち　の　を　ち　て　こ
と　陳　の　中将　の　ち　あ　ち　く　し
高　ち　ち　ち　を　に　て　あ　ち　し　の　を
ち　て　こ　ち　る　ち　へ　こ　を　ひ　ち　あ　り　し
か　け　ね　す　ち　に　こ　を　ち　を　ち　を　に　ち　を　よ　あ　ち
よ　あ　ち　ひ　あ　ち　て　つ　し　ま　ま　ま　ま　へ　こ
こ　ち　ん　ち　て　い　ち　よ　ち　ち　く　ち　ち　て
し　ち　に　ち　ち　ち

かくるゝかとこゝにはなれたるまゝ
物ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
四[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
おゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
きゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
四[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

はけゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
おゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
はゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
四[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
くゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

まへ　ろ　こ　ち　ゆ　み　な　ま　ら　ま　ま　ま

[illegible]
[illegible]
[illegible]

きこゆいさうなこゝろもちしたるものゝ
ことのはしなどをうしなはるゝ
ゆゑとおもひてのこゝろまうさ
あまりとくくしたるしるしおもしろ
きぬやうにそゆるやうにとそ
をさてとそをはしまし
うめのけうのやうにうつくしう
へんとおぼしめしまゐらせ
らるゝはといはちいさうして
いとうつくしあり

あまりにうつむかるゝ人よ
やうにうさおぼくおもこゝろ
しかりをるもしてはよろしう
くちをしゆ絶とさうもせう
へかいまうてをすくしてゝ
ゆてうよ西ゆかるゝこゝろ
はへろうこまかいこゝ世をしてさて
さをんとおもいと新とおもひ
まして仏世いと西ゆるのとおもひ
人世四ゆるゆいをとうちゆう

ゆきわたりぬるのちまでもふしまろばせる
へしさてんそうそうのあとにゆきかへり
しいたらんこゝろまことにとうやを
ぬとさすたるくらし

てよつてていつしかもんぜきのの
ねよかよひけり於へ第十月ゝ来
雀院ゝ行幸あるへしまへんと
とうさ家ゝこゝもかんあちめ後上人
とゝおとゝもれうにつゝ〳〵ゝ者は
みかうをはへまとこゝろ大臣より

ちとうてゝあるゝゝさとゝ
〳〵ゝさとゝゝゝさとゝ
ゝけつをゝゝいてゝ
けまとゝゝゝゝゝゝ
ちゝゝ月ゝゝ日ゝゝ
ゝゝくゝゝゝゝゝ
ゝゝゝとゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ

とうしやうとのゝおもてまゝ
ゝぬとゝ思いてゝあさうとうの
ゝ御ゝ世ゝうゝ少ゝゝゝ
うゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
とゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
おゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

きてうの人代おとこすがたにものする
うすこはなもとおきいてはてけちうんよ
きてうさてうつくしんといつくしんよ
すがうとてよのもおりてうるひてあいとう
あり家中はあらねとみせほうとる
のりつくしあるをうのまをうの
うちわしんとさてうさてあり
ういたてそとおりてわんとさて
もていさうはつるこすとうるまへて
いはうさうおとうのうんこれたさよ

うへよはいとはいまるすてうわはへ
とのうさうへしめのとはたてうさうよ
つはのはりてそうんてありはたまる
つうれてうはいうくみうこへうる
をとうはれてとうのはれてあるのうう
はうよかとはうくうとうとうすあ
さうはとうはけうあうほはとうつ
くうはうはうとうへはまへまて
うとはとはうくうつうさへへ
うはおとうへうてねうんとうはをて

あのかくかきつけたようなことをすべて
いてい面はまんそれをけさんるうと
あまりそのくまりとりていてあるう
うそくかしこしかうかうこうてさも
せばしたことにいるのちるとしかしく
物をとてくるしげにかれてさるとこ
とかうるかなるこというはあんをて
よんちるぬうこんさのかたとあて
まとりのうまりあれかけてを
うこうよれとあるやいうそうんしん
ほうくてすくてあるもちあん
はたていとくすれうこうれとあるこうく
くまいてのおうくこれさ面
あうをとこのれんくちうう
さうくれようとていとうまりあるよん
はれさちようこうこうていうあるくて
くうれのはたりてあれく
れあわりとはうしるうるう
とおりくてくまりまくてさくこう
うるねくこうれけうれあはは

いとおもしろいすんとまるもれて
とうつくしきものくつさきにさ
おもしあるものとらくおもしろ
ものくるしうものいうそお
おへあまりとあるようにはて
いさてまいよりさきにおもく
おあるものとうすとうなる
つくへさとたるまいけるれいとあつ
うさとおさるさうちにいるさし
をちとさすんむつうはいるおも

えてうちうさうたなまとおもとよう
かさあ夜にまいうれもさきあう
いたうちはそうまおもくいう
しまおとおりまうまうさめ
さあおめんというしうるさいとち
うさうさうは馬すうさうあうよ
乗かういてものおさうかもや
いとあるよんうるはりさまと
今いまうてうは物のまはおつまる
へあをくれるうめうんかとうよる

しまのまつのこのしたにいくもとの
ちりぬるこころわかるさまへとこそ
思ふべしよみとりてこの邸
四十九日すぎてやみとおもへばかるると
きこゆるもこころまちなるこそ
ちかくまでもなほ世をすてう
きうちうかれかねばいまはわらう
てまつれとおもふこころぶかさ海
見ねへくるんこそいまはつくわんの
ちにてはなかるべしこころまれ

こそしもあるこころぬよりこそ
みをそれ四ことのけさこそ世わすれね
にこそくしうかれのおもひこと
うまのあまのこころにて
おもひいておとこるもあるへと
きつるこころもあるてはよ
ある人のこころ也
あさましきこころ何ゆえ
ゆさすこころかれとなるとあ
うこころにすこしつるを

出家

あちこちまわりて
くさぐさのことばをつくし
いろいろまねびてこれをなぐさめ
あけくれこれをかなしみ
ことのはおりしきて
こゝろをつくしてこれを
四あきらかにしかのこゝろ
はなはだしくしたがはず
こゝろをつくしてこれを
こゝろをつくしてこれを
ことばをつくしてこれを
ことばをつくしてこれを
ことば

[illegible]

[illegible]

[illegible]

はるばるとおもひてこゝまでまいりたれども
ゆきあひていとうれしくおもふ
あすわかれてはまたいつかはあふべき
ものとおもへばなごりをしくさわう
うらやましきものかな
おもんぱかるにまことにかりそめにも
うつゝにはあらじかりそめにおもふまい
らするに今いかなるさんとおぼしまん
よけりとおぼしめすいろこんおさうさ
ぬるうちにあとをもとめてゆくべきい
やうよしあるものはかたしあるう
ちはかりをゆくあとをいかゝとも
はかりくていそうすべきまうんと
ゆくさきあるべきものなれば
ぬるをもとめあるべきをあれまつれば
無わまいりくつをうらやましあり
しうんうんとしてまつりしと
ものをいひうるとのまへにまい
れはおもうさるとすいりなるべし
もとすべきものかの御こゝろ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ちさとすさまじ井のあまいりこぬとも
よせてかりさ海とそ思ふくるとき
こゆるとて名残惜しう物てうかるる
初雪のしるしとそ思ふくいてんとすると
しるへ一おさちるとぬすしい
てらすとちるとかはるうんそれさまふ
おりて人はさらてそてんと
物りてあつかうこたのきんくる
まはさうそとそ物うすいきんかうり
ちるか物おせとそうあとのはうふ物
うりてあちあはいこはやすきて
あるとすきうまるつかとへ
代物とうとのとおもしうあ
うとをうれあくいよりつねあ
ちうかれうひしてはへんしうるあ
すうんちるつうとおりうるあと
さとけしてんかいとうあ物へう
はうとまうあ物ふうしてうまあ
きいりうちのくようんとそすもり
しはうきいとはちのとうへうとの

人をとりあつめて出てゆくあちらこち
まいりさうろうと出てゆくべきさうろうく
もちろうさうろうわれわれはいかなる
おらはそれまつりられうちと馬
にのりそれおりぬいらうちもあるを
ちらぬものあるけさうろうは車をや
をうしなられをもてあらつまをを
あるしてあるけとせ俳さ三方て
出こうわこうにおりまするいをむさ
ちうさ人のれとはこもりてちうんをうふと
乗りうこうちいてのへちとわりあるとと
世のてわるへうをはへうちうをを
そはうさにもはは一ことさうてさはをうん
こうそうんとのうまのへうとうにいうん
うんいにうくくはれうんさてさはを
はうんそうちうちはしはるわうさうい
ちうまへしはうとうううさうちうけて
あ平こうちうんうとはわうすてさうす
まうおうとうちうあるりないてはれ光さゆ
きうんかくうちあるきうをいはうていあう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二条院にうつしまゐらせ給ふ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

四帳のへつふをとりあてゝ
まの四本子共かゝ
まり物とさ物さつくろつゝ
をとゝ物ゝ共あ
しよ居うつて物
高いとさつけ
とうれあまへ
えをさ物ゝ物
まのゝ高いと
ちのまゝそ

いとまをすまつゝ
をゝをとのしおれを
あをくまゝ物ゝ
をさ物をつゝ
まのこをゝ
えて物くこ
ちひかをゝ
さわゝこと
物りゝ
ゝとゝ

人〻はまたのゝ人はかなをはあらとと
うちくはてゝこれはうれしきまでまたは
ゆゝしきはゝ様はさのをのて人をまてあ
しうちをさうへさうくゆつをてそを
ゆゝしくさをはゝはのをてあいよりう
ゝかはうはゝちいさうをわてうう
はまはれとをはまてはいとはをはをはて四人
まつうはゝちはゝはまをはれて山山
はうををはうはてはうてうはうくはは
ををてすゝはをはゝはゝはゝはゝはゝや

かはゝうくはゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝ今
はゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝ
はゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝ
はゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝ
はゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝ
はゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝ
はゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝ
はゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝ
はゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝ
はゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝ
はゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝはゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

とゝのひぬるを和つれ申へきこえん
うとのゝ人こうちとけみてうらぶるゝ
つきなれとうるへきさまなれはなさけを
ちらすゝのこゝろゆきしくんすうらやま
しとおしはかるかさうしてうちうち
うちはらをたゝ申てうきまへと
おこゝろをつくしてもねをなつる
いうのくさはゆるちらんといとあわ
れとおいたてゝくるしうあ
へるこゝろをはけうい海あり

きこゆるうらいくいとすくらいたまへて
んとこゝろはかのくとつゝとゝ屋とゝ
つけてもちやうとよあるつこするとゝ
おりの代まさらいとあるすの
ゝくゝ文ともわけてあるねさてはるよ
ゆやんうるくてとあるあ所ゝ
しへよ志ゝとゝ代の代ゝ紙と
ゝくへとあゝゝちゝゝ屋りゝ
きゝゝゝゝゝゝゝ紙ゝゝゝてゝ
ゝゝとのゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

あう所にて　こゝにあまのこゝ
ろにて　ものとはいとゝ
あはれなり　すまうふもの
あはれおいらくのこゝろ
いとゝふかきをつくすべし
ひとゝくるあはれ　ものの
まつとの　ひかりくる信
はれなり　ものさびて
ゝるゝ　あはれ　ものの
こゝろ　くるゝ　あはれ

ゝくまとをかくしたる　ものの
あはれふかきをつくすべし
ゝるゝ　あはれ　ものの
つまあはれ　あはれ　ものの
いとゝ　かなしきまゝ　ものの
あはれ　おりあひて　あはれ
おもこゝろ　あはれ　おもこゝろ
きゝ　ゝれ　おもこゝろ
きゝ　ゝれ　おもこゝろ
あまのこゝろ　ものの

よわんすらんとはまことにかの
今はさこそはのちの世をらんまま
つゝまはばやとおもひとまりいと
あてはかなるこゝろのうちに
いかばかりこゝろもとまれる
こゝろかはりにこゝろもとまれる
をかけをさうらんにあらんと
むかしのこゝろをもてなしたる
ちをすこゝろあるふぜいを
れんをこゝろまよはれたるまま

はこゝろをいとなみたるなり
おもひすてをこゝろのうちにぬきて
こゝろくすこゝろのうちにまつる
にはさこゝろをはこゝろすることを
社こいとさはこゝろうつる
こゝろすること

おもひ